おもちゃ箱なごplus　事業者における放課後等デイサービス自己評価結果

公開日：2025年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		部屋分けをして利用できるようにしているが音に敏感な児童はイヤマフを利用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		適切に配置できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	靴箱・ロッカー等に名前やそれぞれ番うイラストを表示している。	外部（保護者やその他関係機関の方々）からの声に耳を傾けその都度整備等行っている。（バリアフリーは難しい）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		感染症予防のため消毒作業はこまめに行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		部屋は多いので、個別の空間は設けられている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎朝のミーティングで、問題あるときは話し合いを持っている。	全体の把握が出来ていないこともあるので把握できるようにする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年公開し、HP閲覧や話し合いで把握できるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	ミーティング等で話し合いを設けている。	もっと個別面談を増やすことを検討中です。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				外部評価は行っていない。今後検討していくと話し合っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	事例検討会を実施。その他、外部への研修も参加している。	スタッフ全員、バランスよく参加できるようにしたい（交代づつ）
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HPに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		相談員、保護者、利用事業所が集まり担当者会議で話し合い計画を作成し利用開始する。その後も密に連絡を取り合う。	子どもの支援に必要な項目（５領域）を含めながら、モニタリングで分析したうえで作成しているが、もっとわかりやすくできるようにしたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		子どもたち一人一人に合わせて、関係者全員でモニタリングし、必要な支援を吸い上げ検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6		スタッフ間で共有・共通理解できるよう努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントと照らし合わせながら、日々の成長を見守り、判断し、確認共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援内容は、相談員、保護者、他事業所との話し合いの中で長期目標を掴み、事業所にて短期目標を制定し、具体的な目標（支援内容）を考え計画を立てている。	５領域を踏まえながら、モニタリング時の保護者の要望（意見）も取り入れ、より適切で具体的な支援を考えていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		全スタッフで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		固定化されないよう、みんなで話し合って工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別と集団の組み合わせをスタッフ総出で話し合って計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝のミーティング時その日の流れや内容、役割分担等、確認できている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		送迎後、その日の振り返りをし、スタッフでの共有とする。休んだスタッフの為に必要な情報は業務日誌にも記入。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の7支援内容に関しては、こと細かく記録を取りスタッフ間で共有している。	「自立支援と日常活動の充実」「多様な遊びと体験」「地域交流」「子供が主体的に参画する」を組み合わせ、偏りない様な支援をさらに模索し行っていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングは相談員が中心になり行う。その前にスタッフ間のミーティングにて目標の達成度等話し合う。	その上での支援を更に広げたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1		「自立支援と日常活動の充実」「多様な遊びと体験」「地域交流」「子供が主体的に参画する」を組み合わせ、偏りない様な支援をさらに模索し行っていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子どもの様子や言葉、日ごろの様子を観察し、本人の意思が汲み取れるようにしている。	その上での支援を更に広げたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者や児発管が参加している。	今後は、スタッフ全員、誰が参加しても遜色ない様な形にしたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		行政や保育を通して教育関係機関とは連携が取れている。	地域の保健、医療機関とは個人情報の観点からなかなか連携が取れない。保護者が間に入ることで初めて連携が取れる。もっとスムーズにうごけないか検討中。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		子どもの担任の先生と連絡先を交換して密に連絡が取れるようになっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		子どもに関わる機関とは、モニタリングや調整会議棟を通して情報共有が出来ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		モニタリングにて、ひきつぎが行われる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6		研修があるときは積極的に参加し、支援に関するアドバイスをいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		コロナ後なし。	保護者の意向を確認しながら、今後、交流等考えたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		研修や会議には参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に対面で、あとは電話やLINE等でも話し合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		名護市開催のペアトレへの参加等をLINEや電話でお知らせしている。（対象年齢の保護者あてに）	事業所でのペアトレは行っていないが、今年度は資質向上のため、職員が研修を受講したので、要望があれば動けるよう準備している。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に、管理者や児発管によって説明を行っている。	分からないことなどは、いつ聞かれてもこたえられるよう努めている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		本人の意思決定と保護者の要望を汲み取れるよう、常に話し合いが出来る環境作りはしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		モニタリング時に、毎回対面で支援内容を説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談には適切に応じ、今必要な支援機関などの助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	おもちゃ箱などとなごplus合同でのクリスマス会や屋外活動等は開催出来ている。	コロナ後、感染症が残ってることから、まだ保護者会の開催など行えていない。今後、開催が出来るよう計画したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		迅速に対応できるよう、日頃からスタッフ間で情報共有を行い、対応に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月のお便りとと別に、ブログやLINEでも情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報は、鍵付きロッカーで管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		目線の高さを合わせ話をし顔を覚えてもらう。笑顔で対応する。	特性に合わせた、教材を考え、利用していきたい。。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	地域住民を招待できていない。	今後、感染対策や保護者の意向を踏めながら考えていきたい。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		職員間では出来ている。事業所に掲げて保護者にも契約時に周知しているが、実地等の報告はできていない。	訓練の行った際、保護者への周知がうまくできていないので、お便りやブログなどで上手く発信してきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に年2回（AEDの訓練や緊急措置訓練）	こちらに関しても設問42と同じで周知していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時点で確認し、変更ある度報告してもらっている。	取りこぼしがないよう、モニタリング時に確認していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食事提供していない。おやつに関するアレルギーは確認している。	配慮が必要な場合は、保護者から医師の指示書をもらっている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画マニュアルの中で支援している。	更に安全管理を徹底していきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者と連携はとれているが、周知が足りていない。	安全計画について、保護者への周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		話し合っている。	何かあったとき、ヒヤリハット作成し、職員への共有、本社への連絡。（ちょっとしたヒヤリハット、気づきも書いておくのが後々のため）
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		外部研修や、定期的に社内研修をしている。（本社より講師派遣など）	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		必要な保護者へはきちんと説明している。	契約時、支援計画書の更新時に身体拘束が必要そうな児童の保護者については説明を行っている。今後さらに保護者への説明を徹底し理解を求める。